

2025 年 3 月 31 日

各 位

株式会社北洋銀行

株式会社トップイーグル様と 「サステナブル経営支援ローン」の契約を締結しました

北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)は、株式会社トップイーグル様(北海道江別市、代表取締役:河野 雅彦様)に対し、「サステナブル経営支援ローン」(以下、本ローン)を実行しました。

本ローンは、北洋銀行が提供する SDGs コンサルティングや、お客さまとの対話を通じて設定された重要課題のうち、環境・社会・経済に好影響を与え得るもの、もしくは悪影響を抑制し得るものを「サステナビリティ目標」と定義し、その有意義性について第三者からセカンドオピニオン[※]を取得する融資商品です。

株式会社トップイーグル様では、重要課題を「人を大切にする経営」と設定し、重要課題に基づく目標・KPIとして、社員の大幅な賃金上昇を目指していくことで、サステナビリティ経営を実践していきます。

当行では今後も、ほくようサステナブルローン等を通じ、北海道を営業基盤とする金融機関として、環境・社会面に前向きに取り組むお客さまを支援してまいります。

※株式会社北海道共創パートナーズによるセカンドオピニオンは別紙をご参照ください。

記

【株式会社トップイーグル様の概要】

所 在 地	北海道江別市文京台41番地8
代 表 者	河野 雅彦様
設 立	2005 年 1 月
業 種	自動車販売、自動車の整備・板金・塗装・ドレスアップ・チューニング 等

【契約記念の様子】



右：株式会社トップイーグル
代表取締役 河野 雅彦 様

左：北洋銀行
江別中央支店長 佐々木 尚弘

以 上



北洋銀行グループは、2018 年 12 月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGs に関連するプレスリリースには、該当する SDGs のアイコンを明示しております。

【SDGs】2015 年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための 2030 年までの国際目標。17 のゴールと 169 のターゲットで構成される。

株式会社トッピーグル ほくようサステナブルローン サステナブル経営支援ローン

株式会社北海道共創パートナーズ
コンサルティング事業部

本セカンドオピニオンは、株式会社トッピーグル(以下、「トッピーグル」という)が北洋銀行の融資商品「サステナブル経営支援ローン(以下、本ローン)」を利用するにあたり、株式会社北海道共創パートナーズ(以下、「HKP」)が第三者の立場から発行するものである。

本ローンは、お客さまのSDGs経営とサステナビリティ目標に対し、第三者からの評価を取得し、融資実行後においても北洋銀行との継続的な対話等を通じ、企業の持続性の向上を支援する商品である。

1. 企業概要

(1) 基本情報

企業名	株式会社トッピーグル	
代表者名	河野 雅彦	
所在地	北海道江別市文京台 41 番地 8	
資本金	3 百万円	
従業員	6 名 (2025 年 1 月現在)	
事業内容	・ 新車・中古車販売 ・ 車両の整備・板金・塗装、チューニング、カスタム ・ 重機販売 ・ レンタカー事業	
沿革	2005 年 1 月 2006 年 8 月 2018 年 7 月	有限会社トッピーグルとして設立 株式会社トッピーグルに組織変更 現本社に事務所設立

■ トッピーグル本社



出所：トッピーグル提供資料

(2)経営・事業に関する考え方

トップイーグルは、顧客の望むカーライフの実現と一貫した品質の維持に重きを置いている。顧客との信頼関係を大切に、購入後のアフターサービスも含めて長期的なサポートを提供することを目指している。また、当社メッセージを締めくくる「最初から最後までお付き合いしたいのです。」の一文は、顧客のみならず従業員に対して向けられたメッセージである。

トッ プ イー グ ル TOP EAGLEとは

納車されたその日から、アナタのカーライフはこれまでよりも、
少しだけ特別なものへと変わります。

お客様の「こうしたい」を叶えることが私達の仕事です。

世界に一台だけのあなただけの車を探すこともできます。

オイル交換等の日常のメンテナンスからハードチューンまで。

車のことならなんでもご相談ください。

大切な車だからこそ、最初から最後までお付き合いがしたいのです。

出所：トップイーグル WEB サイト

トップイーグルは、当社が事業展開するカーディーラー業界では、少子高齢化による人口減少や若者の車離れなどが兼ねてから囁かれ、事業環境の見通しが難しい状況にあると認識している。更に完成車メーカーが自動車製造を担い、カーディーラーが販売を担うというビジネスモデルが、メーカーによるサブスクリプションモデルへの変革が加速することで崩れつつあり、経営環境には強い危機感を抱いている。そのため、当社では同業者が真似できないオンリーワンを目指すことで差別化を図るとともに、自動車の販売以外にも事業領域を拡大していくことで生き残りを図っていく方針にある。

事業環境が大きく変化する中でオンリーワンの強みを磨き込み、競争力を高めるトップイーグルには、会社に従事する少数精鋭の役職員を家族と捉え、「人を大切にする経営」を実現したいという価値観が存在する。当社は、今後もオンリーワン企業としてカーディーラー事業の深化と、新たな事業領域の探索を通じて、変化する経営環境の中を勝ち抜き、「人を大切にする経営」を堅持していく考えにある。

(3)事業概要

トップイーグルのコア事業は、新車・中古車の販売業である。また、整備、修理、板金、塗装、保険、ローンなど、車に関する総合的なサービスを展開している。

当社の大きな特徴は、創業から一貫して手掛ける「チューニング」と「カスタム」にある。エンジン内部や足回りなどの強化や軽量化により車の性能を限界まで引き出したハードチューニングカーや、デザイン・意匠をドレスアップにより高めるカスタムカーなど、オーナーの要望を叶えるトータルアドバイザーとして、唯一無二の車両を提供している。

チューニングカーやカスタムカーのマーケットは、1960年代頃から立ち上がったとされ、その後、1980年代から1990年代に流行期を迎えた。当時の流行期には、違法改造や公道でのレースなどが社会問題となり、取締が強化、ブームは一旦終焉を迎えた。現在、“昭和のエモさ”をクールと捉えるムーブメントや、映画「ワイルドスピード」などのヒットなどもきっかけとなり、国内外で日本型のチューニングカー、カスタムカーが再び注目を集めている。

これまで当社が手掛けたチューニングカー、カスタムカーは、世界最大級のカスタムカーの祭典「東京オートサロン」での最優秀賞を始め、さまざまコンテストにおいて受賞歴を有している。

■ 主な受賞歴

年号	受賞歴
2001	THE10TH STREET D-UP CAR CONTEST IN ASAHIKAWA 2001総合2位 北海道ドレスアップカーコンテスト I N札幌2001 V I Pワゴン1位 N J C F 2001画期的復活祭杯特別賞 ファイナルステージ杯2001 総合ファイナル賞
2004	THE10TH STREET D-UP CAR CONTEST IN ASAHIKAWA 2004VIPCAR部門4位
2005	THE10TH STREET D-UP CAR CONTEST IN ASAHIKAWA 2005総合1位
2008	第3回札幌ファイナリスト杯2008アナザー部門2位
2009	SATOUJIHAN杯4TH2009アナザー部門5位 ドレスアップカーミーティング F U S I O N杯2009総合5位
2010	THE10TH STREET D-UP CAR CONTEST IN ASAHIKAWA 2010優秀賞 ドレスアップカーコンテスト I N宮城杯2010ワゴン総合3位 出所：トップイーグル 提供資料
2012	札幌CUSTOMCAR SHOW2012優秀賞
2013	札幌CUSTOMCAR SHOW2013最優秀賞 北海道ドレスアップミーティング杯2013総合優勝
2014	札幌CUSTOMCAR SHOW2014優秀賞 S C L ドレスアップグランプリ杯ラグジー部門2014準優勝 C-CUP杯2014sub・luv1位
2016	東京オートサロンCARSHOW2016最優秀賞 B I G M E E T I N G北海道2016セダンミドル部門準優勝
2017	東京オートサロンCARSHOW2017最優秀賞
2018	東京オートサロンCARSHOW2018 第9回札幌ファイナリスト杯2018スーパーカー大賞 第5回札幌ファイナリスト杯2018スーパーカー大賞 エンジョイカートレース杯2018優勝 6thC-CUP2018特別功労賞
2024	チューニングカータイムアタックイベント「Attack筑波」にて、当社がチューニングしたR35GT-R NISUMOがレコードタイムを記録

出所：トップイーグル 提供資料

■ 当社が手掛けたチューニングカー



出所：トッピーグル 提供資料

また、トッピーグルでは新たな事業領域の「探索」として、近年様々なビジネスを展開している。例えば、新たな当社の柱へと育ちつつあるのが重機販売事業だ。販売車両はコマツや日立建機などのメーカーを中心に、油圧ショベル・ホイールローダー・クレーンなど多岐に亘る。また、上述したチューニングカー、カスタムカーのオーナーらに会社経営者が一定存在することから、自動車販売から重機販売にビジネスがつながるシナジーも生まれている。さらに、重機販売事業を拡大させていく中で様々な土木建設業者とコネクションを構築し、運送取次事業も展開している。現在、神奈川県・千葉県・静岡県などで、土木建設現場で生じる廃土の運送取次を担っている。

■ 販売した重機と運送取次事業で提供しているダンプ



出所：トッピーグル 提供資料

2. サステナビリティ活動

トップイーグルは、「人を大切にする経営」という価値観のもと、役職員の働きがいと労働環境整備を強く意識した事業運営を行っており、「人を大切にする経営」が当社のサステナビリティにおける重要課題（マテリアリティ）である。

(1) 社会面での活動

- 報酬・福利厚生

2024年度は国内の物価上昇を踏まえ、全役職員を対象に5～10%のベースアップにより処遇の改善を実施。ライフイベントごとの祝金や慶弔見舞金の支給、個人賠償責任保険の付保、車両トラブル時の無料ロードサービス、様々な施設利用時の割引など、多様なサービスを受けられる福利厚生共済制度を導入している。

- ワークライフバランスの充実

GWや盆、年末年始などには長期の公休日を10日程度設定することで、心身のリフレッシュを促している。

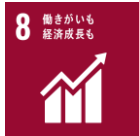
代表自らが従業員に対して、「家庭や家族のイベントを優先する休暇の取得」の声かけに努め、休暇取得がしやすい職場環境を整えており、全役職員が100%近い有給休暇取得を実現している。

上述の取り組みの結果、創業時より当社において退職者は発生しておらず、高い人材定着を実現している。

3. サステナビリティ目標の設定

本ローンの取り組みにあたり、以下の重要課題の達成に向けたサステナビリティ経営の目標・KPIを設定した。

(1) サステナビリティ目標の設定

重 要 課 題	人を大切にする経営
取 組 内 容	全社員に対し更なる待遇改善を実現することで、働きがいのある環境を追求する
設定した目標・KPI	2030 年度までに全社員を対象に、国内の消費者物価指数を上回りながら、2025 年対比で年間 120 万円以上のベースアップを実現する。
貢 献 す る S D G s	 

(2) サステナビリティ目標の有意義性

本ローンの組成にあたり、トппイーグルはサステナビリティ経営の重要課題（マテリアリティ）に「人を大切にする経営」を定め、自社の成長に向けた目標・KPI を設定した。以下、トппイーグルの取り組みの有意義性を見ていく。

2024 年 3 月に国土交通省（物流・自動車局 自動車整備課）は「自動車整備士等の働きやすい・働きがいのある職場づくりに向けたガイドライン」を策定・公表している。

自動車整備業界では、少子高齢化や働き方の多様化等により人材不足が課題となっている。本ガイドラインでは、事業の規模や専業・兼業・ディーラー等の業態を問わず、すべての整備事業者を対象に、人材の定着・確保に向けた「働きやすい職場・働きがいのある職場づくり」に係る 4 つの要素 ①働き方・労働条件 ②人間関係・コミュニケーション ③人材開発 ④待遇（働く価値）を示している。

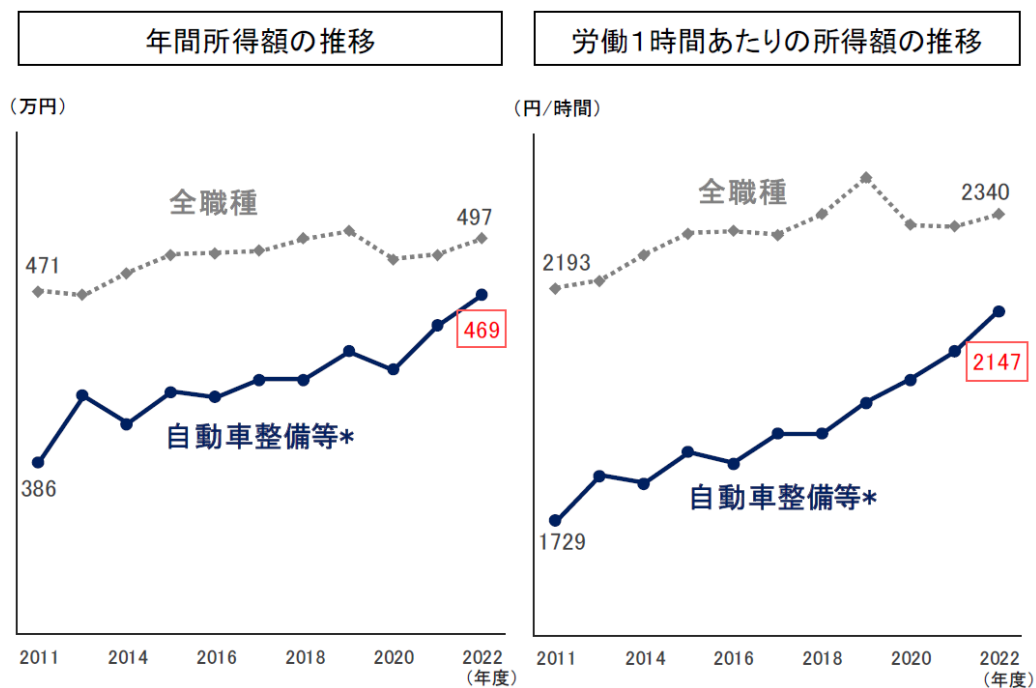
自動車整備士等の働きやすい・働きがいのある職場づくりに向けたガイドライン（概要）		国土交通省
背景・目的 - 自動車整備業では、少子高齢化や働き方の多様化が進む中で、整備技術の高度化などに適切に対応するため、整備士をはじめとする整備要員の定着・育成を進めていくことが重要。 - 本ガイドラインは、このような観点から、整備士をはじめとする人を中心とした魅力ある（働きやすい・働きがいのある）職場づくりを行うにあたり、整備事業者において実施することが求められる取組みや望ましい取組みを示すことにより、整備事業者によるそれらの実施を後押しするもの。		
働きやすい・働きがいのある職場づくりに係る 4 つの要素	ガイドラインに示す取組みの例	
働きやすい職場	働き方・労働条件	■ 定期的な作業機械等の安全点検、事業場内の清掃、安全又は衛生のための特別の教育などを実施 ☐ 女性用の作業機械などの設備・機器や産後の復職研修制度の充実により、女性整備士の活躍を推進 ☐ フレックス勤務、時差出勤等の勤務シフトの柔軟化により、個々の背景に合った働き方を実現
	人間関係・コミュニケーション	■ メンター制※の導入などを通じ、若手が先輩に対して人間関係等の困りごとを相談できる機会を提供 ☐ コミュニケーション能力を昇給等の評価を行う際に考慮することなどにより、風通しの良い意思疎通の文化を醸成 ☐ 入庫から出庫までの一連の過程を随時共有するシステムの活用などにより、社内で作業の進捗を見える化
働きがいのある職場	人材開発	■ 法令遵守、整備業務、作業の安全確保などに関する社内教育の実施又は社外研修への参加を推奨 ☐ 等級制度、研修制度、コーチング等の多様なキャリアアップの支援を提供 ☐ 新技術に対応する診断機器・整備器具の導入により、継続的に知識・技能を向上できる環境を整備
	待遇（働く価値）	■ 労務費等の適正な価格転嫁などにより、若年層を含む整備要員に支払う賃金を確保 ☐ 整備士資格手当や役職手当の支給などにより、個人の能力に応じた報酬の支給 ☐ アンケートなどで顧客の声を知る機会を設けるなど、整備要員に社会貢献を実感できる機会を提供

（備考）整備事業者において実施することが求められる取組みを「■」、実施することが望ましい取組みを「□」で示している。

出所：国土交通省「自動車整備士等の働きやすい・働きがいのある職場づくりに向けたガイドライン（2024.3）」

当社は、ワークライフバランスの充実と良好な社内コミュニケーションにより、概ね働きやすい職場環境は整えている。自動車整備業の所得水準は全業種と比較して一定の改善がなされているが、全職種の平均年間所得額 497 万円に対して自動車整備等は 469 万円と依然として課題を残している。現時点における当社従業員の所得水準は業界平均を上回っているが、「人を大切にす経営」の具現化には、更なる改善の取り組みは欠かせないと判断している。

所得面における待遇の改善は、人の働く意欲に多大な影響を与え、企業活動の維持に必要な人材確保・定着に有効である。また、継続的な物価上昇が続くなか、従業員の生活を守る観点からも有意義な取り組みである。



出所：国土交通省「自動車整備士等の働きやすい・働きがいのある職場づくりに向けたガイドライン（2024.3）」

株式会社北海道共創パートナーズ 会社概要

名 称	株式会社北海道共創パートナーズ
本社所在地	〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目7番地 北洋大通センター13階 代表 TEL : 011-596-7814
資 本 金	4,950 万円
株 主	株式会社北洋銀行
代 表 者	代表取締役社長 岩崎 俊一郎
事 業 内 容	①経営に関する問題点の調査・分析、改善案の企画・立案 ②企業戦略の立案、システムの構築および事業承継およびM & Aに関する支援 ③人材育成のための研修業務 ④有料職業紹介事業（許可番号 01 ユ-300467） ⑤投資事業組合財産の運用及び管理 ⑥株式、社債又は持分その有価証券に対する投資業務 ⑦前各号に付帯関連するコンサルティング業務 ⑧前各号に付帯関連する一切の業務
沿 革	2015 年 8 月 株式会社日本人材機構 設立 2017 年 9 月 株式会社日本人材機構と株式会社北洋銀行の共同出資により 株式会社北海道共創パートナーズ設立 コンサルティング事業とプロフェッショナル人材のシェアリング 事業を開始 2018 年 10 月 有料職業紹介事業の許可を取得し、人材紹介事業に参入 2020 年 4 月 株式会社北洋銀行が株式会社日本人材機構の保有する株式を 取得し、100%子会社化 株式会社北洋銀行から M&A 事業を移管 2023 年 4 月 経営コンサルティング事業の中の補助金コンサルティングを 補助金事業部として事業部化

留意事項

本文書は、貸付人が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の SDGs 経営とサステナビリティ目標の有意義性に対する第三者意見を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

HKP は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本文書に関する一切の権利は HKP に帰属します。HKP の事前の許諾無く、本文書の全部または一部を自己使用の目的を超えて使用すること（複製、改変、翻案、頒布等を含みます）は禁止されています。

【独立性】

HKP は、北洋銀行グループに属しており、北洋銀行および北洋銀行グループ企業との間および北洋銀行グループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は北洋銀行とは独立して行われるものであり、北洋銀行からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

【第三者性】

借入人と HKP との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係などの特別な利害関係はありません。